

■令和8年度第3回狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会次第

1 日 時 令和8年6月29日（月）午後6時30分

2 場 所 狛江市防災センター3階301会議室

3 議 題

（1）令和8年度（令和7年度実施事業）再評価について②

担当部署：学校教育課

（2）その他

【資料】

- ・ 狛江市教育委員会の自己点検及び評価報告書（1-2-1-1 抜粋）
- ・ 学校教育課説明資料（1-2-1-1）（スライド資料）

施策展開の方向性		確かな学力の定着とDXの時代を生き抜くための基礎的・基本的な知識・技能の伸長を図ります。			
コード		1-2-1-1			
事業名	G I G Aスクール構想推進			担当課	学校教育課
施策展開の具体的内容				到達目標（令和11年度末）	
・児童・生徒がデジタル技術を適切に利用できる基礎的な力を育むため、校内におけるデジタル環境の整備とデジタル教材の積極的活用を図るため、タブレット端末を更新するとともに、更新時において、小・中共通化を図る。また、デジタル教材の導入の拡充を検討し、それらを効果的に活用できる校内環境を整える。				・児童・生徒が日常的にデジタルツールを活用し、確かな学力の定着に向けた学習を効果的に進められる環境が実現しており、デジタルツールを活用した個別最適な学習が進んでいる。	
令和7年度の実組結果・成果			評価	今後の課題・方向性	
・共同調達による学習用タブレット端末の更新を滞りなく実施した。 ・デジタル教科書やミライシードを導入・活用したほか、中学校における採点支援ツールやA Iを活用した英語教材等を検討し、令和8年度の一部導入に至った。 ・教材づくり等を効果的・効率的に行えるよう、教職員向けに生成A I利活用ガイドラインを策定した。 ・小・中学校における今後のインターネット利用の拡充を見据え、中期的に安定した通信環境を構築するため、機器入替等の検討に向けたネットワークアクセスメントを実施した。 ・懸念される情報セキュリティリスクへの対応を強化するため、狛江市教育委員会教育情報セキュリティポリシーを全面改定した。			A	・学習用タブレット端末の更新及びデジタル教材の活用について、引き続き指導室と連携しながら進める必要がある。 ・ネットワークアクセスメントの結果を踏まえ、ネットワーク機器の更新等を実施することにより、小・中学校における中期的に安定した通信環境を構築する必要がある。 ・教育情報セキュリティ委員会の設置・運用等により、改定したセキュリティポリシーを実効的に運用していく必要がある。 ・都による校務支援システムの共通化や共同調達に対応するため、今後整理されるシステム要件やセキュリティ要件等に適切に対応する必要がある。	
取組内容		年次計画			関連する予算事業
		R 8	R 9	R 10	
①	タブレット端末更新整備	・共同調達によるタブレット端末更新			・情報教育推進費
②	デジタル教材活用	・デジタル教科書の活用 ・ミライシード（A Iドリル・オクリンクプラス）活用及び活用状況の把握 ・生成A Iも含めた新たなデジタル教材の導入検討・活用			
③	ネットワーク、デジタル環境整備	・学校の通信ネットワーク速度の改善 ・学習用システム（appleTV、電子黒板機能付プロジェクタ等）の関係設備の拡充検討 ・学習用システムの拡充の検討			
④	統合型校務支援システム等の導入	・都・他自治体と連携したシステム及びセキュリティ要件の整理	・共同調達への対応（試行導入の検討含む） ・システム稼働及びセキュリティ環境の構築	・校務支援システム等の導入（保護者連絡ツール等の周辺ツールを含む）	関連計画等 ・狛江市DX戦略2.0 ・狛江市教育委員会教育情報セキュリティポリシー

令和 8 年度自己点検及び評価審査委員会

GIGAスクール推進構想 説明資料

狛江市教育委員会学校教育課

第4期狛江市教育振興基本計画（狛江市教育大綱）上の位置付け

基本方針

切り拓いていく力の育成

施策展開の方向性

主体的に社会の形成に参画する態度や生きる力の育成

施策

確かな学力の定着とD Xの時代を生き抜くための基礎的・基本的な知識・技能の伸長を図ります。

施策展開の 具体的内容

児童・生徒がデジタル技術を適切に利用できる基礎的な力を育むため、校内におけるデジタル環境の整備とデジタル教材の積極的活用を図るため、タブレット端末を更新するとともに、更新時において、小・中共通化を図る。また、デジタル教材の導入の拡充を検討し、それらを効果的に活用できる校内環境を整える。

到達目標 (令和11年度末)

児童・生徒が日常的にデジタルツールを活用し、確かな学力の定着に向けた学習を効果的に進められる環境が実現しており、デジタルツールを活用した個別最適な学習が進んでいる。

本日のご説明事項

1. 統合型学習支援ソフトウェア「ミライシード」の導入
2. ネットワークアセスメントの実施
3. 採点支援システムの試験導入（R8本格導入）
4. セキュリティポリシーの改定 / 生成AI利活用ガイドライン作成

令和7年度の取組 ①

統合型学習支援ソフトウェア「ミライシード」の導入

| 目的・概要

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けたGIGAスクール構想と、教員の負担軽減（働き方改革）を推進するため、個々の習熟度に応じた学習が可能なアプリケーション、シームレスな協働学習が可能なアプリケーション等を一体的に提供する「ミライシード」を全校で導入する。

令和7年度
授業支援アプリ
の起動率（率/週）

45%

主なアプリケーション

ドリルパーク

個々の子どもの理解度・習熟度に応じてAIが最適な問題を出題するデジタルドリル。

学習意欲を喚起する仕掛けも有効に機能。



オクリンクプラス

児童・生徒が自分の意見をまとめる、共有する、協働するためのツールで個別学習・協働学習・振り返りが一体的に可能。



令和7年度の取組 ②

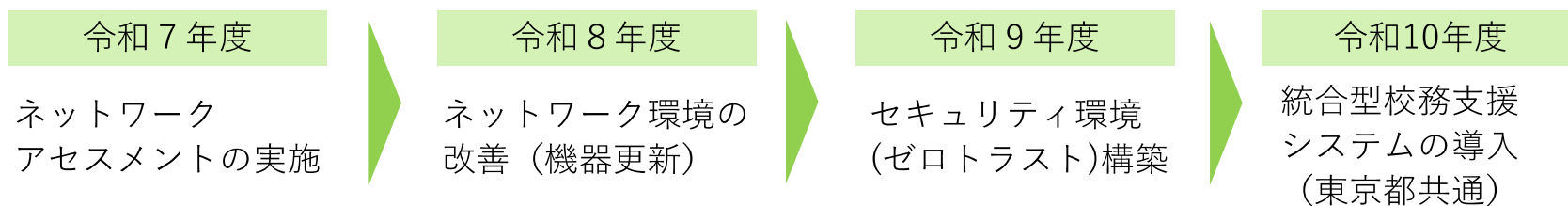
ネットワークアセスメントの実施

｜ 目的・概要

今後のGIGAスクール構想及び校務DXの推進に対応可能な、安定的な通信環境の構築に向け、各学校におけるネットワーク環境の課題を調査する。

｜ 今後の予定

令和10年度の統合型校務支援システムの導入に向け、本事業により特定したネットワーク上の課題を基に、令和8年度にネットワーク機器の更新等の措置を実施する。



令和7年度の取組 ②

ネットワークアセスメントの実施（調査結果）

✓ ルー タ

特に中学校に設置されている機種の様式が古く、性能が不足している。

✓ PoEスイッチ

型式が古いことによる性能不足及び構成が複雑化している。

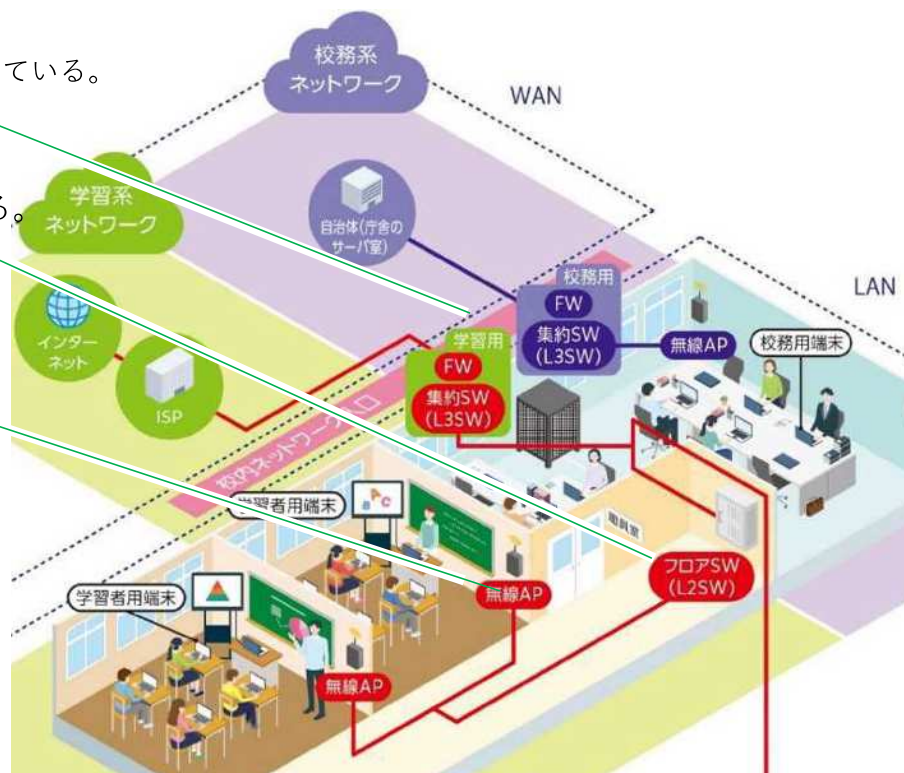
✓ 無線LANアクセスポイント

古い型式であり、最新のWi-fi規格に対応していない。

国が示す当面の推奨帯域の達成状況

多くの学校で、国
が示す当面の推奨
帯域を満たしてい
なことが判明。

令和8年度の環境
改善事業(機器入
替)により、全校
での達成を目指す。



令和7年度の取組 ③

採点支援システムの試験導入（R8本格導入）

背景・目的

1. 市立中学校における**超過勤務時間が月45時間を超す教員の累積割合は約30%**（R7時点）
2. 国の調査（H30）では、教員が最も負担が大きいと感じる業務で「**採点や成績処理**」が約3割を占める。
3. 教員の採点業務の負担を軽減し、教員の心身の健康の維持と個別最適な教育指導の充実を図る。

全中学校への採点支援ツール（ソフトウェア）『百問繚乱』の試験導入

- 『数式』『英単語・英作文』をAI-OCRで自動採点
- 1問ごとに学級全員分の採点を行う『切抜き採点』
- 設問ごとの正答率等を一覧表示する等、学習指導を支援
- 試験導入の結果、業務効率化や人為的なミスの軽減、
- 採点後の指導の充実に大きく貢献しているとの所感を得ている。（採点支援ツール提供会社の検証結果によれば、採点業務の時間が48.8%減少）
- 本試行を経て、令和8年度に本格導入済



切り抜き採点



自動採点

令和7年度の取組 ④

セキュリティポリシーの改定 / 生成AI利活用ガイドライン作成

- 校務上でのクラウドサービス等の活用が進む。
- GIGAスクール構想に基づき、児童生徒・教職員のタブレット端末利用を促進。
- 一方、情報セキュリティリスクは年々多様化し、情勢に応じた対策を講じる必要性がある。
- 日常的に生成AIに触れる機会が急増。
- 学校教職員の業務効率化や質向上に向け、生成AIの活用を促進。
- 一方、生成AIの活用は、不正確な情報生成等のリスクをはらむ。

「狛江市教育委員会教育情報 セキュリティポリシー」を全面改正

主な改正（新規追加）事項

- 情報セキュリティ委員会の設置
- 情報資産の重要性分類の明記
- クラウドサービスやソーシャルメディアサービスの利用制限
- 児童生徒の端末利用に対する指導 等

「狛江市教育委員会生成AI利活用 ガイドライン」を新たに作成

主な事項

- 生成AIを教育活動で適切に利活用する素地を作るべく、まずは教師自身が生成AIに慣れ、賢い付き合い方を学ぶことを目指す。
- 教職員によるMicrosoft 365 Copilot Chat（有料アカウントを活用）の利用を認める。
- 個人情報等の取扱いの禁止 等